

第46回

全国学童保育研究集会

2011年10月22日(土) 全体会 いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)

10月23日(日) 分科会 金沢大学 角間キャンパス(金沢市)



主催 全国学童保育連絡協議会・石川県学童保育連絡協議会

後援 石川県・石川県教育委員会・金沢市・金沢市教育委員会ほか



全国学童保育連絡協議会／編集・発行

日本の
学童ひろく

働きながらの子育てと、学童保育
の実践と運動に役立つ記事が満載

月刊／定価330円

石川県学童保育連絡協議会

参加申し込み書

第46回全国学童保育研究集会

* ファクスで送る場合は拡大コピーしてください。

申し込み者氏名		連絡先電話番号		F A X 番号	
(ふりがな)		() -		() -	
【参加証送付先】 送付先に○をつけてください (自宅 学童保育 勤務先 その他)					
〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					
* 自宅以外の場合は、学童保育名・団体名・会社名、様方等を必ず記入してください					
送付方法は次のいずれかに○をつけてください 一括送付 個別送付					
集会参加回数 ()回目	立場 ○印	保護者(OB含む) 議員 児童委員	指導員 学校関係者	児童館職員 学生	自治体担当職員 その他 ()
所属学童保育の所在地		都道府県 ()		市区町村 ()	
参加費 3500円	弁当代	800円×__個=_____円			
合計 () 円を添えて申し込みます。					
保育の申し込み：(利用する日、子どもの年齢、名前、ふりがな、人数、その他必要事項(アレルギー等)があればお書きください)					
22日	歳	か月	(年生)	名前・ふりがな	必要事項
23日	歳	か月	(年生)	名前・ふりがな	必要事項

き り と り

トップツアー(株)金沢支店へ

宿泊申し込み書

第46回全国学童保育研究集会

* 必ず、お手元にコピー(控え)を残してください

申込者(ふりがな)				宿泊合計人数	
*(代表者名)					
TEL	自宅 () -		F A X	自宅 () -	
	職場 () -			職場 () -	
連絡先住所 (予約確認書送付先)		〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>			
勤務先 (いづれかに○をつけてください)					
自宅					

当社整理番号	* 宿泊者氏名	年齢	性別	10/22	ランク	地区希望 (ホテルリスト参照)	部屋タイプ
				第1希望		金沢駅地区	ツイン
				第2希望		香林坊地区	シングル
				第3希望			
*〈備考欄〉				例	D	金沢駅地区	シングル

※ご希望通りにお取りできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※まとめて申し込み場合は、代表者を決め、各宿泊者ごとに申し込み書を記入の上、同時にお申し込みください。

(一覧表を作って送っていただいても結構です)。予約確認書は、代表者へ一括してご郵送いたします。

(ただし、あくまでも先着順の受付となりますので、分宿となる場合があります。あらかじめご了承ください)。

※ホテルの名簿登録は、カタカナでの登録になりますので、フリガナも忘れずご記入ください。

※前泊・後泊等のご希望の方は、備考欄に詳しくご記入ください。

※ベッド・朝食が不要な幼児を同伴する場合は、備考欄にその旨ご記入ください。

【旅行手配のために必要な範囲内の宿泊機関への個人情報の提供について同意のうえ、本旅行に申し込みます】

全体会

10月22日(土) 13:30～17:00 いしかわ総合スポーツセンター

12:30 受付開始
14:20～14:50 基調報告
14:50～15:20 特別報告
15:30～17:00 記念講演

13:30～14:00 歓迎行事
全国学童保育連絡協議会
*保護者から *指導員から

14:00～14:20 開会行事

自然・人との豊かな関係性がはぐくむ希望 金森俊朗 (北陸学院大学人間総合学部教授)



〈プロフィール〉

1946年、石川県能登生まれ。石川県内の八つの小学校の教師を経て、2007年3月退職。2008年4月より北陸学院大学人間総合学部教授。いしかわ県民教育文化センター所長、日本生活教育連盟石川サークル副委員長。金森学級の一年を追ったNHKスペシャル「涙と笑いのハッピークラス 四年一組 命の授業」が、2003年第30回日本賞グランプリを受賞。主な著書に、『性の授業 死の授業 輝く命との出会いが子どもを変えた』（教育史料出版会）『いのちの教科書 学校と家庭で育てたい生きる基礎力』『希望の教室』『いのちの教科書 生きる希望を育てる』『子どもの力は学び合ってこそ育つ』『子どもたちは作家になる』（以上、角川書店）『金森俊朗の子ども・授業・教師・教育論』（子どもの未来社）『金森俊朗からの心にしみいるメッセージ50編』（いしかわ県民教育センター）『子どものために』は正しいのか』（学研教育出版）など多数。

17:00 閉会
18:30～20:30 交流会 (ITビジネスプラザ武蔵 6階ホール)

分科会

10月23日(日) 9:00～15:30 金沢大学 角間キャンパス

8:00 受付開始
9:00～15:30 分科会

※全体会会場の隣接地及び分科会会場の敷地内に駐車場を確保しています。

会場までの公共交通機関がほとんどありません。臨時バスを増便しますが、なるべく車でご参加ください。

●全体会会場への交通●

- ・住所は、石川県金沢市稚日野（わかひの）町北222番地
- *東京方面からは……JRの場合（新幹線と特急利用）は東京・金沢間で約4時間。飛行機の場合は、羽田空港から小松空港まで1時間、小松空港からJR金沢駅までバスで約40分。車の場合は、途中のルートや休憩などで異なりますが約7時間。
- *大阪方面からは……JRの場合（特急利用）は大阪・金沢間で約3時間。車の場合は、約4時間。
- ・JR金沢西口駅より臨時バス増便、「いしかわ総合スポーツセンター行き」（金沢駅西口①乗り場）で「稚日野（わかひの）」下車、乗車時間約20分。

●分科会会場への交通●

- ・住所は、石川県金沢市角間町。
- ・JR金沢駅東口より臨時バス増便、「金沢大学行き」（金沢駅東口⑥乗り場）で「金沢大学中央」下車、乗車時間約40分。



10月23日(日)

9:00~15:30

分科会 ●金沢大学 角間キャンパス

希望する分科会をひとつ選んでご参加ください。

1日を通して学習・交流します。

	分科会	学習・交流のねらい
基礎講座 (講義)	①今日の子育てと学童保育の役割 ～学童保育の基本を学ぶ～	働きながら子育てをする家庭にとって、学童保育はなくてはならない存在です。今日の保護者の仕事・職場や子育ての現状や課題とともに、学童保育とは何か、学童保育に求められていることは何か。学童保育の役割と基本を学ぶ。
	②保護者と指導員でつくる よりよい学童保育	<ul style="list-style-type: none"> • わが子が安心して生活できる学童保育をつくるために、保護者と指導員がどのように力をあわせて内容をつくり、運営していくか、条件整備の課題に取り組むのか。一人ひとりの保護者の責任と父母会・保護者会の役割と課題を学ぶ。 • 学童保育を新しくつくる、増やす、分割するための課題とすすめ方を学ぶ。
	③指導員の仕事と役割 ～指導員の仕事の基本を学ぶ～	学童保育の役割をおさえ、指導員の仕事とは何かを確かめ、仕事をしていくうえで必要な実務や打ち合わせなどを学ぶ。また、よりよい学童保育をつくっていくうえで指導員に求められる課題を学ぶ。
	④学童保育の役割と 大切にしたい生活内容	働く保護者をもつ子どもたちに保障したい学童保育の生活内容、保護者が安心して働けるために大切にしたいことについて学ぶ。
子ども理解と学童保育の生活づくり (実践的交流)	[一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、保護者が安心して働けるために大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあう]	
	①子どもをとらえる視点と 働きかけ・指導 (2教室)	一人ひとりの子どもをどうとらえるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあう。
	②安心できる関係づくりと 生活内容 (2教室)	学童保育が子どもたちにとって安心感のある生活の場になっていることが大切。一人ひとりの子どもと指導員の関係づくりを土台として、子ども同士の関係がつけられるような毎日の生活づくりの課題を学びあう。
	③学童保育の生活の流れと 見通し (2教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、子どもの実態をふまえたうえで、平日の放課後・土曜日・長期休業日など、それぞれの生活の流れや組み立て、年間の見通しをどうつくるかを学ぶ。
	④学童保育の生活とあそび (2教室)	学童保育の子どもの生活とあそびの実態を交流しながら、子どもにとってのあそびの意味や指導員のかかわりを学びあう。
	⑤子どもたちの生活を伝え、 保護者とともに育てる (2教室)	学童保育での子どもの姿や指導員のかかわりを保護者に伝えることの大切さを交流し、さまざまな保護者の生活や願いを受けとめながら、ともに子どもを育てることの大切さを学ぶ。
⑥高学年を含めた学童保育の 生活づくり (2教室)	高学年の子どものおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた学童保育の生活づくりで大切にしたいことを学びあう。	
運動を交流する分科会		学習・交流のねらい
3	①父母会・保護者会の役割と活動	<ul style="list-style-type: none"> • なぜ父母会(保護者会)が必要なのか、父母会の持つ役割と大切さを学ぶ。 • みんなが参加できる父母会、魅力ある父母会づくりを交流する。
	②父母会と連絡協議会の 結成・活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 学童保育や保護者の実態と課題を確かめ、市町村・都道府県レベルの学童保育連絡協議会がなぜ必要なのかを明らかにする。 • 父母会・連絡協議会の結成や活性化の課題、魅力ある会にするために何が大事なのかを交流し、学び合う。 • 保護者・指導員が「あって良かった連絡協議会」と感じられるような活動や工夫を交流する。
4	共同運営の学童保育 —運営と改善の課題—	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者が実質的に運営を担っている学童保育(地域運営委員会方式を含む)の実態と課題を交流し、公的責任を明らかにしながら行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあう。 • 一人ひとりの保護者が力を発揮できる運営の工夫や指導員の果たす役割を深める。

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
5	公立公営の学童保育 —実態と改善の課題—	<ul style="list-style-type: none"> 公立公営の学童保育の実態と課題を明らかにする。 保護者と指導員とともに協力しながら、保護者の願いに応え、公立公営の学童保育をどうつくっていくかを学びあう。保護者の参画、保護者と指導員の連携をどうすすめるか。入所基準・定員、開設時間、指導員の雇用（任期付き雇用、雇用止め）、指導員の働く条件、生活内容、父母会活動などのある方を学び、深める。
6	子どもの放課後のあり方、 「全児童対策事業」・児童館と 学童保育の課題	「放課後子ども教室」や「(余裕教室を使った)全児童対策事業」や児童館の役割や課題、学童保育との関係についての課題を深め、子どもが育つ地域や放課後生活のあり方を確かめ、学童保育の実践や運動の課題を学ぶ。
7	学校内の学童保育 —実態と改善の課題—	学校施設利用について、国や自治体、地域の動向を学び、実態を交流しながら、条件整備の課題と留意すべきことを確かめる。学童保育が学校内にあることの課題や利点などを整理しながら、子どもたちによりよい学童保育をつくるための学校との関わりを考えあう。
8	学童保育の施設改善の課題	国のガイドライン、各地の設置・運営基準の策定の動向などを踏まえて、施設・設備の実態と課題、改善運動を交流し、学童期の子どものための「生活の場」にふさわしい学童保育の施設・設備のあり方を学びあう。
9	私たちが求める国の制度確立と 運動の課題	「子ども・子育て新システム」で学童保育の制度の見直しが検討されている。私たちが求める国の制度の確立とは何か、私たちはどのような制度を求めていくのかを確かめ、国や自治体に対する運動の課題を交流する。
10	学童保育の「適正規模」と分割・ 複数設置の課題	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育の大規模化が解消されないなかで、学童保育での子どもたちの生活の実態や指導員の悩みを交流し、大規模化の問題を明らかにする。 適正規模（40人まで）の必要性を明らかにして、分割・複数設置の運動の課題を学ぶ。また、「分けきる」分割のあり方、複数設置の場合の運営や保育のあり方についても深める。
11	自治体施策の改善の課題	各自自治体の学童保育施策の現状や問題点、自治体で起きている動き、市町村・都道府県の責任とは何かを明らかにしながら、施策の改善運動の課題を学びあう。
12	指定管理者制度と学童保育 助言者・城塚健之（弁護士）	「公の施設」を管理するための制度が、子どもたちが継続的に生活しながら育つ場である学童保育にも導入されていることの問題点を、実際に導入されている地域の実態から明らかにする。指定管理者制度を学童保育に導入することがなぜ問題なのか、導入させないための運動、撤回させるための運動の課題を学ぶ。
13 指導員にかかわる 課題	①専任・常勤・複数体制の確立、 労働条件の確立	指導員の仕事を確かめながら、専任・常勤・複数体制がなぜ必要なのかを学ぶ。各地の「午後から勤務」「非常勤」「非専任」体制の実態と問題点を明らかにし、労働条件の改善も含めた運動を交流する。
	②指導員の仕事の確立と研修活動	指導員の仕事の内容や特徴を明らかにしながら、日常的・継続的な研修と経験の蓄積がなぜ大切なのかを確かめる。指導員の研修内容を交流し、仕事に必要な研修内容を確かめる。「実践を振り返る」ことの大切さと方法について学び合う。また、指導員に求められる資格や専門性について深める。
	③指導員の職場づくりと地域の指導員会づくり	学童保育での子どもたちの生活に責任を負う指導員が、毎日の仕事をしていくうえで求められる「職場づくり」の実態を交流し、課題を確かめあう。また、地域（都道府県、地区、市町村レベル）で指導員同士が学びあい・支えあうための指導員会づくりの必要性やあり方について学びあう。

	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
14 障害児と学童 保育	①障害児の受け入れと障害児理解 講師・田中良三（愛知県立大学）	LD・ADHDなども含め、障害児の障害と発達・生活・権利への理解を深め、学童保育に受け入れるにあたっての視点や条件整備の課題を学ぶ。
	②障害児を含めた生活づくり —実践の交流と確かめ— 助言者・河合隆平（金沢大学）	障害児が入所している学童保育での、生活づくりの実践を交流し、学童保育で大切にしたいこと（子ども理解・子ども同士の関係・指導員の働きかけ・保護者との関係など）を学びあう。
	③障害児を対象とした学童保育づく り 講師・丸山啓史（京都教育大学）	地域での障害児の生活や発達をどう保障していくのか。障害児を対象とした学童保育や放課後ケア施設の必要性や役割を確かめ、つくり、充実させていくための課題を学び、実践と運動を交流する。

	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
15	高学年の子どもの生活 講師・本田清春(滋賀・小学校教諭)	高学年の子どもの心と身体の特徴・生活・要求を確かめ、学童保育での高学年の生活を交流するとともに、高学年の子どもたちに保障したい放課後や家庭の生活を学ぶ。
16	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均(早稲田大学)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利とは何か。「子どもの権利条約」について、国連子どもの権利委員会の日本政府への勧告なども踏まえて、今日の日本の実情とかかわらせながら、学ぶ。 家庭・学童保育での、子どもの権利をふまえた子どもにとらえ方や子育ての課題を学ぶ。 「放課後子どもプラン」や「放課後子ども教室」事業を、子どもの権利条約の視点から問い直す。
17	今日の子どもの問題を考える 講師・村山士郎(大東文化大学)	衝撃的な少年犯罪の発生、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊などに見られる今日の子どものめぐる状況を明らかにし、子どもにとらえ方を深め、子育てや教育の課題を学ぶ。
18	学童保育と学校 ー保護者と指導員と教師のかかわりー 講師・土佐いく子(大阪・元小学校教諭)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学校・教師・子どもをめぐる問題・動向を学ぶ。 子育ての願いや子どもの生活を保護者・指導員・教師が伝えあう大切さと、それぞれの実践の課題を学ぶ。
19	学校での学びと教師・保護者の役割 講師・渡辺津子 (埼玉・元小学校教諭)	学校は子どもたちが共同で学んでいく場。学級づくりや授業づくりの中で豊かに学びが広がる。子どもたちの学ぶ意欲を育て、学ぶ楽しさのある学級や学校をどうつくるか。教師と保護者の役割と連携の課題を学ぶ。
20	子どもの発達と学力 講師・金森俊朗(北陸学院大学)	<ul style="list-style-type: none"> 学力とは何か。子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるものを学ぶ。 子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学ぶ。
21	子どもの遊び・学び・仕事 講師・青山秀継(子どもの遊びと手の労働研究会)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長・発達と遊び・学び・仕事のかかわりを学ぶ。 働くことや働く人への理解や家事労働の大切さを学ぶ。
22	子どもの生活と地域・文化 講師・諸岡康哉(金沢大学)	今日の若者・子どもの生活と地域・文化をめぐる状況を明らかにしながら、若者・子どもの育ちと生活・地域・文化をどう理解したらよいかを学ぶ。そのうえで、保障したい文化的環境や生活とは何かを学ぶ。
23	子どものからだと生活 講師・藤田和也(國學院大學)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の子どものからだのおかしさや特徴を明らかにする。 成長期にある子どもの健康な身体づくりについて大切にしたいことを学ぶ。 食生活、生活のリズムなど、家庭や日常の生活のあり方をとらえなおす視点を学ぶ。
24	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・池添 素(らく相談室)	保護者の仕事・職場の実態が家庭・子育てにどのように影響しているのかを明らかにしながら、家族・家庭の役割、母親も父親も人間らしく働き、いっしょに子育てするために求められる課題を学ぶ。
25	女性・男性の仕事・職場、働き方を考える 講師・渡辺和恵(弁護士)	<ul style="list-style-type: none"> 女性の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにする。 女性の社会参加や子育てしながら働きつづけるために、保育の公的保障などの条件整備の課題を学ぶ。 男性も女性も人間らしく働ける労働条件や、働く環境の整備の課題を学ぶ。
26	地域に根ざす学童保育 講師・山崎丈夫(愛知学泉大学)	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育が地域に根ざすとはどういうことかを学ぶ。 町内会・自治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域のかかわりについて学ぶ。 安全・安心な街づくりの課題についても学ぶ。
27	自治体政策と地方自治の課題 講師・二宮厚美(神戸大学)	<ul style="list-style-type: none"> 政府の「地域主権戦略」、自治体リストラやアウトソーシング(外部化)、今日の地方自治と自治体をめぐる政策動向、地方自治と住民運動の課題を学ぶ。 地方自治とは何か、自治体と国の役割と責務について学ぶ。
28	社会保障・児童福祉・「新システム」の動向と課題 講師・横山壽一(金沢大学)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の日本の貧困問題、セーフティネットとしての社会保障の現状と行方、あり方を学ぶ。 政府がめざしている「子ども・子育て新システム」の問題点、これまでの公的保育制度の仕組みや守るべき制度のあり方を学ぶ。 権利としての福祉、働きながらの子育ての保障を確立する運動の課題を学ぶ。
29	《特設分科会》 東日本大震災と学童保育(仮称)	東日本大震災は多くの市町村に甚大な被害を生み、学童保育の子ども、保護者、指導員、学童保育施設などもたくさんの被害を受けた。被災地の現状、救援・復旧・復活の課題は何か、私たちに何ができるのか。被災地の学童保育関係者とともに考え合う。

宿泊の申し込み 申し込み期限…9月30日（金）

宿泊を希望される方は、参加申し込みとは別に、宿泊申し込み書に必要事項をご記入のうえ、下記旅行会社にFAXまたは郵送にて直接お申し込みください。

①**宿泊施設と料金（10月22日・10月23日の1泊朝食付 税サ込）** ……最少催行人員1名より、添乗員なし
 宿泊施設は、金沢駅地区と香林坊地区にて確保しております。宿泊施設はたいへん混み合っており、ご自身での宿泊手配は難しいと思われるので、当該方法にて御申し込みをお願いします。

ランク	金沢駅地区	香林坊地区	部屋タイプ	料金
A	ホテル金沢		シングル	9,500円
B	ダイワロイネットホテル金沢金沢 マンテンホテル		シングル	8,500円
			ツイン	8,000円
C	ドリーミン金沢 ※シングルのみ アパホテル金沢駅前	アパホテル金沢中央	シングル	7,500円
			ツイン	7,000円
D	ヴィアイン金沢 ※シングルのみ キャスリーン金沢	スマイルホテル金沢	シングル	6,500円
			ツイン	6,000円
E	ホテルルートイン金沢駅前 ※サービス朝食	アパホテル金沢片町 ※サービス朝食 ホテルアクティール金沢	シングル	6,000円
			ツイン	5,500円

②申し込み方法

宿泊申し込み書に部屋タイプを第三希望までご記入のうえ、下記旅行会社へFAXまたは郵送でお申し込ください。尚、申し込み書の普信を必ずご確認ください。FAXの場合は、当日または翌日。郵送の場合には、投函後3～4日後。

③申し込み期限

9月30日（金）申し込みは先着順に受付させていただきます。満室になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

④送金方法

お申し込み締め切り後、旅行会社より予約確認書及び請求書を送付させていただきますので、10月17日（月）までに指定口座へお振り込みください。なお、振り込み手数料はお申し込み者のご負担となります。

⑤取り消し料

21日前まで	20日～8日前まで	7日～2日前まで	前日	当日	無連絡
無料	20%	30%	40%	50%	100%

※取消日の基準は、FAXの送信月日を基準とします。下記旅行会社の営業日・営業時間内とさせていただきます。
 ※取消後の返金は、研究会終了後に振り込み手数料を相殺のうえ、お申し込み者の指定口座へ振り込み送金します。

⑥子ども（小学生・幼児）の料金

大人と同額です。ただし、ベッド・朝食が不要な幼児は無料です。申し込み書に幼児の方の年齢とその旨をご記入ください。（無料扱いの幼児の基準年齢は、満3歳以下です）

≪**宿泊申し込み先**≫……※旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者の説明にご不明の点がありましたら、ご遠慮なく旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

トップツアー(株)金沢支店

観光庁長官登録旅行業第38号 JATA正会員 ボンド保証会員

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス金沢4階

電話 076-233-0109 FAX 076-222-0147 総合旅行業務取扱管理者：安田和也

営業時間：月～金 9:30～18:00 / 土曜日 9:20～12:40 ※日祝日休業

担当：岩谷洋平、内山 大 承認 中部11-054

ご旅行条件の要約

- ①**募集型企画旅行契約**……この旅行はトップツアー(株)（以下当社）が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社との募集型企画旅行契約を締結することになります。また、契約の内容・条件とは各プランに記載されている条件のほか、下記条件、出発前にお渡しする確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので事前にご確認のうえお申し込みください。
- ②**旅行のお申し込み及び成立**……お申し込み書に所定の事項を記入し、指定の期日までに旅行代金全額をお支払いください。旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領した時に成立したものとします。
- ③**個人情報の取扱について**……お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、当該旅行における手配に必要な範囲内において利用させていただきます。その他、個人情報の取扱については旅行条件説明書に明記しております。

第46回全国学童保育研究集会のご案内

- **日程と会場** 2011年10月22日(土) 13:30~17:00 全体会
いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)
10月23日(日) 9:00~15:30 分科会
金沢大学 角間キャンパス(金沢市)
- **参加費** 3500円(資料代含む) ○1日のみの参加も両日参加も参加費は同額です。
○10月18日(火)以降にキャンセルした場合は返金できません。
- **弁当代** 800円(23日のみ。会場周辺には飲食店などの店舗がありませんので、お弁当が必要な方は必ず10月13日(木)までに申し込んでください)
- **参加申し込み方法**

- *参加申し込みは、現金書留ではなく郵便振替を利用してください。参加費(必要な方はお弁当代も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、郵便振替の受領証のコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」をあわせて、ファックスか郵便、Eメールでお送りください。**ファックスの場合は、文字が見えにくくなりますので、拡大して、お送りください。**
- *団体でまとめて振り込む場合は、振り込み用紙の通信欄に団体名と人数、代表者の連絡先を書いてください。
- *市町村に学童保育連絡協議会等がある地域は、できるだけ連絡協議会でまとめて申し込んでください。

参加申込み先

石川県学童保育連絡協議会

〒920-0856 石川県金沢市昭和町5-13 交通会館1階

TEL 076-234-1910 FAX 076-234-1988 E-mail: isgakuho@beach.ocn.ne.jp

郵便振替口座: 00770-4-15981 口座名義: 石川県学童保育連絡協議会

※他の金融機関から振込む場合は、銀行名: ゆうちょ銀行、

店名: ○七九(ゼロナナキュウ) 預金種目: 当座預金、口座番号: 0015981

- *当日受付もありますが、たいへん混雑しますので、宿泊希望がない場合でも事前に参加の申し込みをお願いします。事前申し込みは、集計の都合上、10月13日(木)までにお願いいたします。

- **宿泊の申し込み** *参加の申し込みとは別に、別記の要領にそって旅行代理店トップツアーに申し込んでください。
- **保育** *3歳以上は用意しますが、十分ではありませんので、できるだけ地域で対応してください。保険料・おやつ代は会場でいただきます。
*必ず事前に申し込んでください。利用日、年齢、名前、ふりがな、必要事項(アレルギー等)があれば申し込み書にご記入ください。
- **できるだけ車でご参加** 会場までの公共交通があまりありませんので、できるだけ車でのご参加をお願いします。全体会会場の近隣地及び分科会会場の敷地内に駐車場を確保しています。案内に従って駐車してください。
- **問い合わせ** ◇参加申し込みについては、石川県学童保育連絡協議会へ。076-234-1910
◇宿泊については、トップツアー(株)金沢支店へ。076-233-0109
◇研究集会の内容については、全国学童保育連絡協議会へ。03-3813-0477

全国学童保育連絡協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13

TEL 03-3813-0477 FAX 03-3813-0765

<http://www.2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou>

(リーフレットはホームページからもダウンロードできます)

ご記入いただいた個人情報は、この研究集会に関する問い合わせのほか、各種受講案内や刊行物案内をお届けするために利用させていただきます。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。

おねがい

レポート資料

- ・分科会に参加者が自主的にレポートや資料を用意されることは大歓迎です。ただし、印刷は当日、会場ではできませんので、必ずご自身で事前に印刷して持ち込んでください(印刷枚数は10月19日(水)までに全国学童保育連絡協議会まで問い合わせください)。
- ・分科会会場では、まず世話人にレポート・資料の持ち込みの旨を伝え、世話人を通して参加者に配布してもらってください。なお、1日目(土曜日)に世話人に渡したいので、できましたら1日目に全体会本部に2部お持ちください。

販売

- ・販売は、実践や運動の記録、子どもの作品(文章など)に限ります。販売希望の方は、それぞれの都道府県連絡協議会または全国学童保育連絡協議会事務局に、10月12日(水)までに申し込んでください。
- ・販売は、用意してある販売場所に限ってお願いいたします。販売物は、全国学童保育連絡協議会に1部寄贈をお願いいたします。

チラシ配布券(印刷)

- ・会場内では自粛してください。多くの参加者が会場内で署名・カンパ活動・チラシ配布などを行いますと、会場が混乱しますのでご協力ください。